

## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 株式会社銀座山形屋 上場取引所 東  
 コード番号 8215 URL http://www/ginyama.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小口弘明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 瀬戸山英児 TEL 03-6866-0276  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	927	8.0	30	-	64	78.7	52	103.0
2022年3月期第1四半期	858	53.8	△9	-	35	-	25	-

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 7百万円 (-%) 2022年3月期第1四半期 △42百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	30.40	-
2022年3月期第1四半期	14.97	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,374	2,228	50.9
2022年3月期	4,390	2,220	50.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,228百万円 2022年3月期 2,220百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-				
2023年3月期（予想）		0.00	-	-	-

(注) 2023年3月期の配当については未定とさせていただきます。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,644	11.5	△109	-	△96	-	△106	-	△61.45
通期	3,769	7.0	117	-	125	101.6	105	138.6	60.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1 Q	1,804,471株	2022年3月期	1,804,471株
2023年3月期1 Q	79,405株	2022年3月期	79,405株
2023年3月期1 Q	1,725,066株	2022年3月期1 Q	1,725,146株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、国際的な政情不安や中国のゼロコロナ政策に伴うサプライチェーンの停滞があったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大が一服し、行動制限の緩和を受けて人手が増加するなど、非製造業中心に経済活動に改善の動きが見られました。

小売業界におきましてもこのような動きを受けて、外食や旅行など個人消費が持ち直す傾向が見られました。

このような環境の中、弊社におきましても結婚式などイベント再開に備えたフォーマルスーツ需要やコロナ禍で外出を控えていたお客様の来店など、オーダーメイドスーツの受注・販売が増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9億2千7百万円（前年同四半期比8.0%増）となり、オーダーメイドスーツの受注数量も前年同四半期比15.3%増となりました。販売費及び一般管理費は水道光熱費の上昇があったものの、昨年来実施している本部ワンフロア化などの経費削減効果により経常利益は6千4百万円（前年同四半期比78.7%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は5千2百万円（前年同四半期比103.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次の通りです。

#### 小売事業

行動制限緩和を受けた消費活動の持ち直しにより、受注・販売が順調推移し、売上は5億9千2百万円（前年同四半期比13.9%増）、営業利益4千6百万円（前年同四半期比79.0%増）となりました。

#### 卸売事業

経済活動の回復に伴い、展示会を予定通り実施することが出来ました。

その結果、売上高1億7千7百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業損失2千1百万円（前年同四半期の営業損失1千8百万円）となりました。

#### 受託縫製事業

小売事業同様に通常の消費活動に戻ってきたことから、受注・販売は順調に推移し、売上高4億8千6百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業利益3百万円（前年同四半期の営業利益0百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1千6百万円減少し、43億7千4百万円となりました。

資産の部では、流動資産が前連結会計年度末と比較して1千9百万円増加しました。これは現金及び預金が増加した一方で受取手形及び売掛金が前連結会計年度末と比較して減少したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して3千5百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券の時価の減少によるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末と比較して2千3百万円減少し、21億4千6百万円となりました。これは、主に未払法人税等が減少した事等によるものであります。

純資産の部においては、主に親会社株主に帰属する四半期純利益5千2百万円を計上した結果、当第1四半期連結会計期間末の株主資本は、21億9千3百万円となりました。

また、その他有価証券評価差額金は4千5百万円の減少でありました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期までの業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,491,896	1,617,258
受取手形及び売掛金	384,384	288,987
商品及び製品	106,436	100,950
仕掛品	19,766	23,618
原材料	91,464	97,692
その他	74,069	58,374
貸倒引当金	△2,304	△1,851
流動資産合計	2,165,713	2,185,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	104,512	111,583
その他（純額）	172,512	173,346
有形固定資産合計	277,025	284,929
無形固定資産		
その他	79,004	74,294
無形固定資産合計	79,004	74,294
投資その他の資産		
投資有価証券	1,177,544	1,139,331
敷金及び保証金	551,084	550,580
繰延税金資産	8,405	7,835
その他	131,962	132,481
投資その他の資産合計	1,868,997	1,830,228
固定資産合計	2,225,027	2,189,453
資産合計	4,390,741	4,374,483
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	140,513	141,632
未払法人税等	21,703	5,703
1年内返済予定の長期借入金	138,066	187,350
その他	530,404	529,170
流動負債合計	830,687	863,856
固定負債		
繰延税金負債	26,643	32,063
長期借入金	481,934	432,650
役員退職慰労引当金	110,152	111,898
退職給付に係る負債	510,920	500,775
資産除去債務	193,190	190,003
その他	16,344	15,130
固定負債合計	1,339,185	1,282,521
負債合計	2,169,873	2,146,378

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
利益剰余金	△504,514	△452,069
自己株式	△81,495	△81,495
株主資本合計	2,141,551	2,193,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,316	34,108
その他の包括利益累計額合計	79,316	34,108
純資産合計	2,220,867	2,228,104
負債純資産合計	4,390,741	4,374,483

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	858,311	927,196
売上原価	396,851	409,720
売上総利益	461,460	517,476
販売費及び一般管理費	471,231	487,463
営業利益又は営業損失(△)	△9,771	30,012
営業外収益		
受取利息	19	18
受取配当金	27,478	26,650
受取手数料	2,281	-
助成金収入	13,328	5,854
雑収入	3,695	3,811
営業外収益合計	46,803	36,334
営業外費用		
支払利息	1,063	1,011
修理費	-	1,100
雑損失	21	-
営業外費用合計	1,084	2,111
経常利益	35,946	64,235
特別損失		
減損損失	-	2,913
特別損失合計	-	2,913
税金等調整前四半期純利益	35,946	61,322
法人税、住民税及び事業税	9,165	9,628
法人税等調整額	947	△750
法人税等合計	10,113	8,877
四半期純利益	25,833	52,444
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,833	52,444

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）
四半期純利益	25,833	52,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,900	△45,207
その他の包括利益合計	△67,900	△45,207
四半期包括利益	△42,067	7,237
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42,067	7,237



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	520,381	181,143	155,706	857,231
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	301,455	301,455
計	520,381	181,143	457,161	1,158,686
セグメント利益又は損失(△)	25,992	△18,708	975	8,259

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	8,259
棚卸資産の調整額	△112
その他の調整額	-
全社収益(注1.)	57,326
全社費用(注2.)	△75,245
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△9,771

(注1.) 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

(注2.) 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製事業	
売上高				
外部顧客への売上高	592,546	177,256	156,312	926,116
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	330,281	330,281
計	592,546	177,256	486,593	1,256,397
セグメント利益又は損失（△）	46,533	△21,001	3,889	29,422

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	29,422
棚卸資産の調整額	△371
その他の調整額	—
全社収益(注1.)	55,198
全社費用(注2.)	△54,237
四半期連結損益計算書の営業利益	30,012

（注1.）全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの経営指導料、不動産賃貸収入等であります。

（注2.）全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。